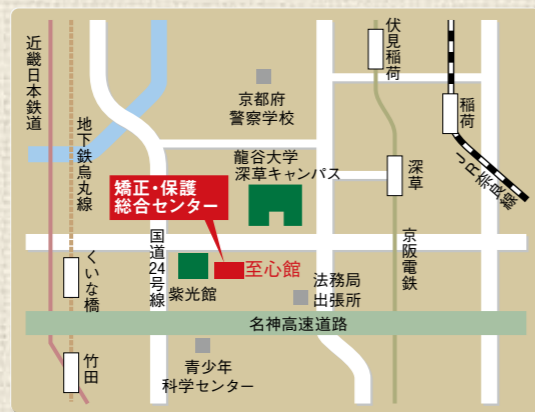
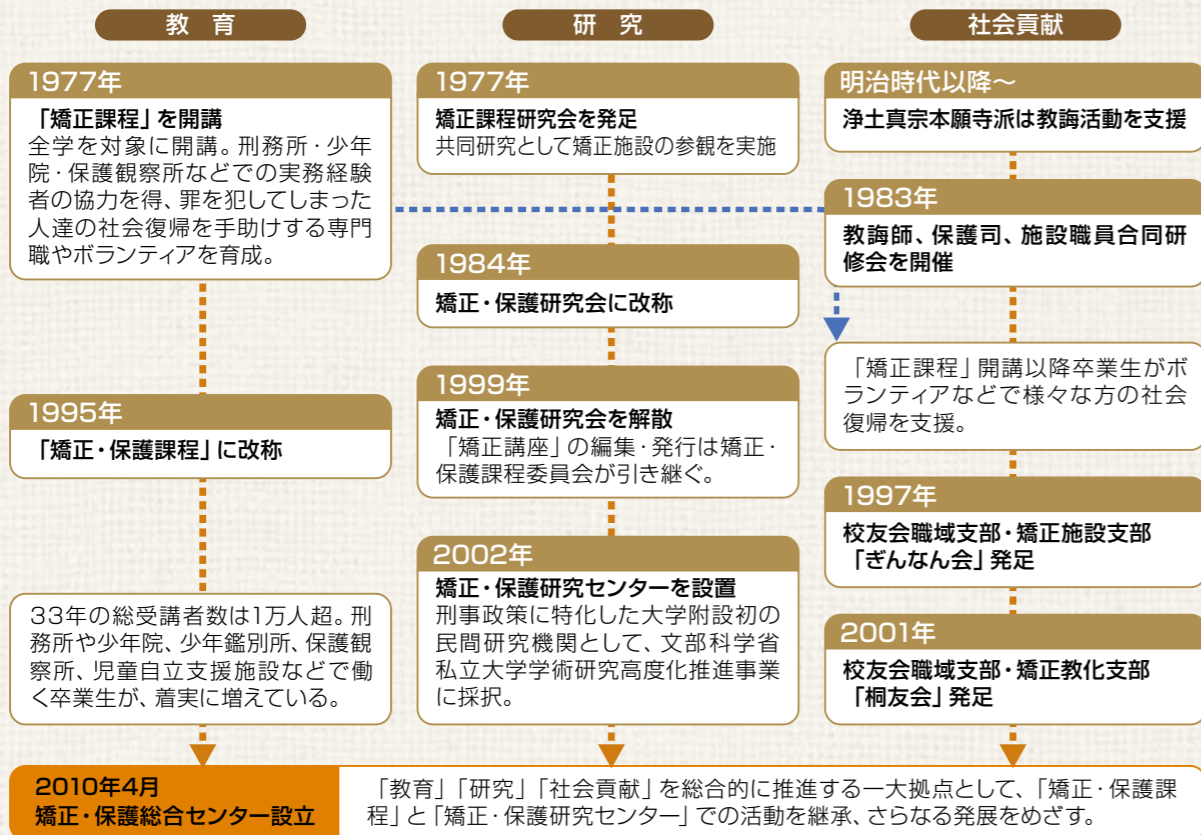


(参考) 龍谷大学における「矯正・保護」の取り組み



- 京阪「深草駅」下車徒歩8分
- JR奈良線「稲荷駅」下車徒歩13分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋駅」下車徒歩5分

龍谷大学 矯正・保護総合センター
Ryukoku Correction and Rehabilitation Center (RCRC)

TEL: 075-645-2040 (直通) FAX: 075-645-2632 (直通)

住所: 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67至心館1階
web: <http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>
E-mail: kyosei-hogo@ad.ryukoku.ac.jp

第4回

矯正・保護ネットワーク講演会

〈講演講師〉

たしま よしあき
田島 良昭 氏

社会福祉法人南高愛隣会(コロニー雲仙)前理事長
最高検察庁参与

〈講演テーマ〉

罪に問われた
高齢・障がい者の
支援のあり方



2014年2月16日(日) 13:30～ (開場 12:30)

龍谷大学 アバンティ響都ホール

(京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階)

主催：龍谷大学矯正・保護総合センター

後援：浄土真宗本願寺派／京都府保護司会連合会／京都府更生保護女性連盟／更生保護法人 京都府更生保護協会／京都BBS連盟
共同通信社／朝日新聞京都総局／毎日新聞京都支局／読売新聞京都総局／日本経済新聞社京都支社／京都新聞社

講演会開催にあたって

本日はご来場ありがとうございます。主催者を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

龍谷大学は、100年以上に及ぶ浄土真宗本願寺派の宗教教誨を基盤としながら、1977年に、刑事政策に特化した教育プログラムとして、矯正課程（現在の矯正・保護課程）を設置しました。それ以来、刑務官や法務教官、保護観察官などの専門職のほか、保護司や篤志面接委員、BBSなどのボランティアの養成に努めてきました。

また、2001年には、矯正・保護についての学術研究を推進する矯正・保護研究センターを設置しました。この研究センターは、2002年度からは、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（AFC）に採択され、8年間にわたり研究活動を行ってきました。

2010年には、矯正・保護総合センターを開設し、矯正・保護課程の教育活動と研究センターの研究活動との有機的な統合をはかることとしました。さらに、総合センターにおいては、矯正・保護の分野における社会貢献活動も、事業の柱として明確に加えることとしました。矯正・保護の実務家や関係する行政機関、民間団体、企業家、専門職の方々、地域の方々など、この問題に関心を寄せる多様な人びとに対し、それぞれの思索と相互理解を深めるため、議論・研修の場を提供する事業です。この事業の一環として、本日の矯正・保護ネットワーク講演会を開催することといたしました。

近年、国におきましては、更生保護事業の重要性が再認識され、その機能の強化とともに、制度の改革や運用の改善が図られています。当センターとしても、更生保護事業と福祉との連携の重要性を、改めて強く認識しているところです。

このような状況の中で、田島良昭氏にご講演をいただくことは、時宜にかない、極めて意義深いことと思っております。

本日の講演会が、お集りいただいたみなさんに実り多いものとなりますよう、心から願っております。

龍谷大学 矯正・保護総合センター長 福島 至

本日のプログラム

総合司会：津島昌弘（龍谷大学 社会学部教授）

13:30～ 趣旨説明

福島 至（龍谷大学 矯正・保護総合センター長／大学院法務研究科教授）

13:35～ 講師紹介

浜井浩一（龍谷大学 大学院法務研究科教授）

13:45～ 講演

講演者 田島 良昭 氏

テーマ 『罪に問われた高齢・障がい者の支援のあり方について』

15:15～ 質疑応答

15:40～ センター長挨拶

15:45 閉会宣言

講師紹介

田島 良昭氏について



社会福祉法人 南高愛隣会（コロニー雲仙）前理事長。第3セクター職業訓練法人長崎能力開発センター理事長。一般社団法人全国地域生活定着支援センター協議会会長。厚生労働科学研究「触法・被疑者となった高齢・障害者への支援の研究」研究代表者（2009～2011年度）。

2005年、刑務所の中に多くの障がい者や高齢者がいることに気づき、衝撃を受ける。「セーフティーネットであるべき福祉、その専門家であるはずの我々が救えていなかった。本当に申し訳ない。」という思いから厚生労働科学研究（2006～2008年度）の研究代表者をつとめた。この研究を踏まえ、司法と福祉をつなぐ「地域生活定着支援センター」を初め、数々の制度が誕生することとなった。

近年では被疑者・被告人段階からの支援 厚生労働科学研究（H21～3年間）により、「地域生活の再スタートへの支援」をテーマに福祉的な更生支援に取り組んでいる。

〈主なご経歴〉

- 1945年 長崎県島原市生まれ。法政大学卒業後、厚生大臣を目指し、政治家を志す。
- 1977年 障害福祉の現場での活動を目指し、社会福祉法人南高愛隣会（コロニー雲仙）を設立、理事長就任。
- 1999年 宮城県福祉事業団理事長就任。
- 2002年12月 内閣総理大臣表彰受賞。
- 2005年 4月 新・宮城県社会福祉協議会常勤副会長就任。
- 2006年 厚生労働科学研究「罪を犯した障がい者の地域生活支援に関する研究」（2006～2008年）研究代表者をつとめる。
 - 〳 年10月 ナイトサービス（グループホーム）は障害者自立支援法の新法グループホーム・ケアホームへ全面移行する。
- 2009年 9月 通勤寮も障害者自立支援法へ移行し、コロニー雲仙全ての事業所を障害者自立支援法に移行する。
- 2011年 7月 最高検察庁検察運営全般に関する参与会及び知的障がい専門委員会参与に就任。民間人の立場から検察改革に取り組む。
- 2013年10月 社会福祉法人南高愛隣会（コロニー雲仙）理事長を退任。顧問・理事に就任。

